

滋賀医科大学 産婦人科専門研修プログラム概要 簡略版

2022

プログラム統括責任者
産科学婦人科学講座
教授 村上 節



施設群と指導医数

- 基幹施設：滋賀医科大学医学部附属病院
- 連携施設：計9施設
 - 大津赤十字病院、淡海医療センター、済生会滋賀県病院、滋賀県立総合病院、公立甲賀病院、東近江総合医療センター、近江八幡総合医療センター、長浜赤十字病院、尼崎総合医療センター
 - 割り当て指導医数：計17. 16名

基幹施設・滋賀医科大学医学部附属病院の特徴

- 周産期医学・婦人科腫瘍学・生殖内分泌学・女性医学の4分野すべての研修が可能です。
- 独自の教育プログラムで、実臨床での説明と同意の取り方から腹腔鏡トレーニングまで、学術面では学会発表の方法から論文の書き方まで、指導しています。
- 充実したオン、オフを目指して勤務環境の整備に取り組んでいます。

連携施設群の特徴

- 大津赤十字病院をはじめ、滋賀県全域の病院を網羅しています。
- 滋賀県のみならず、兵庫県にも連携施設があります。
- 本専門医制度で必須の地域医療研修に対応しています。

研修スケジュールの一例

(毎年相談して決定します)

1年目

基幹病院

基本を学びます

2年目

連携病院 1

実力を養います

3年目

連携病院 2

懐を広げます

不足を補います

基幹病院

今後の募集(2021年10月16日現在)

- 定員: 10名
- 第一次募集: **11月1日～11月12日正午**
– 日本産科婦人科学会ホームページから登録を！

「百聞は一見にしかず」
基幹施設の見学は随時受け付けています！
プログラムへの質問もどうぞこちらへ

お問い合わせ先

https://www.shiga-med.ac.jp/~kensyu/formmail/senmoni_index.php

あるいは

hqgyne@belle.shiga-med.ac.jp